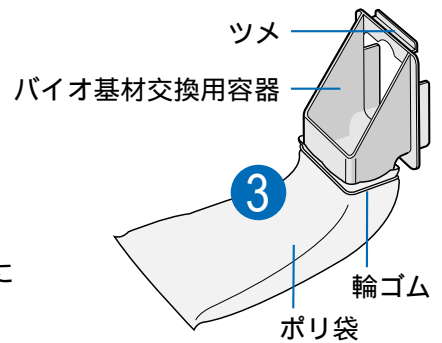


バイオ基材交換のしかた

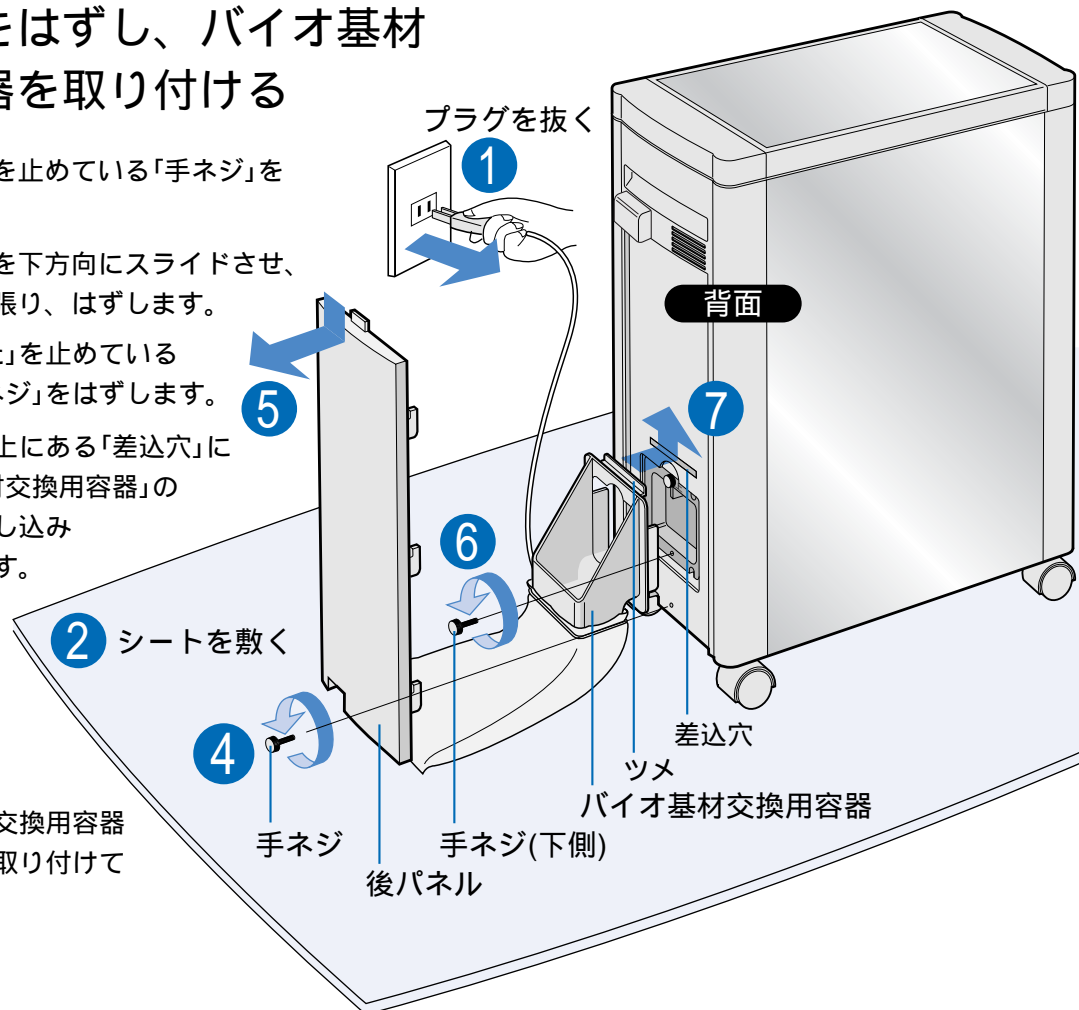
1 準備

- 1 電源を「切」にし、
電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 本体の下にビニールシートなどを敷きます。
(バイオ基材交換中にこぼれることがあります)
- 3 「バイオ基材交換用容器」に、交換用バイオ基材(別売品)に
同梱の「ポリ袋」を「輪ゴム」で取り付けます。



2 後パネルをはずし、バイオ基材交換用容器を取り付ける

- 4 「後パネル」を止めている「手ネジ」を
はずします。
- 5 「後パネル」を下方向にスライドさせ、
手前に引っ張り、はずします。
- 6 「取出口ふた」を止めている
下側の「手ネジ」をはずします。
- 7 「取出口」の上にある「差込穴」に
「バイオ基材交換用容器」の
「ツメ」を差し込み
取り付けます。

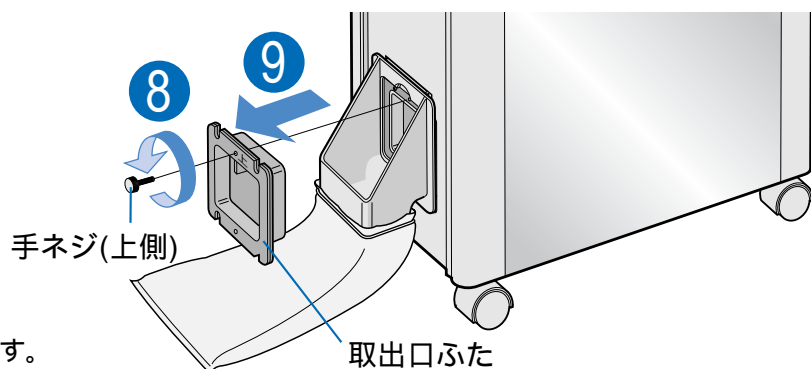


ご注意

バイオ基材交換用容器は、確実に取り付けてください。

3 取出口ふたをはずす

- 8 「取出口ふた」を止めている
上側の「手ネジ」をはずします。
- 9 「取出口ふた」をはずします。



ご注意

かはん棒の一部(スプリング)が、取出口から飛び出す場合があります。

けがを防ぐため、必ず手袋を使用してください。
作業終了後は、必ず手を洗ってください。

交換時期の目安

「こんなときは」 [18ページ](#) の「バイオ基材経過ランプの点灯」をご覧ください。

バイオ基材は使用時間とともに水分調整、空気補給、ガス吸着などはたらきが低下して、微生物が住みにくくなります。生ごみの分解性能を維持させるために、6カ月ごとにバイオ基材を交換してください。

- 「運転表示パネル」に「バイオ基材経過」ランプを設けていますので、交換時期の目安として活用ください。
- バイオ基材の交換時期は、環境条件や生ごみの種類、量などによって異なります。
6カ月が経過していなくても、バイオ基材の状態により交換をおすすめします。

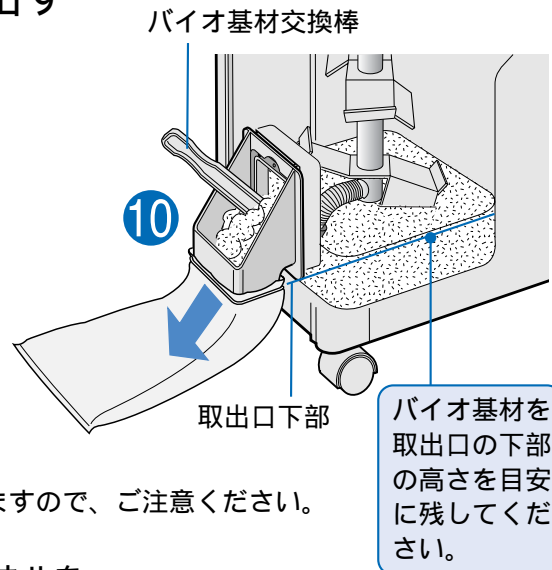
4 処理槽から古いバイオ基材を取り出す

- 10** 付属の「バイオ基材交換棒」で、古いバイオ基材をかき出してください。
バイオ基材を取り出しにくい場合は、上扉を開けて、取出口の方へかき落としてください。

新しく入れるバイオ基材の生育を促進させるため、処理槽の下部に古いバイオ基材を残してください。(約2L)(右図参照)

ご注意

- 取出口に直接手を入れてかき出さないでください。
けがの原因となります。
- 運転停止直後は排気フィルターが高温になっていますので、ご注意ください。



5 バイオ基材交換用容器をはずし、取出口ふた、後パネルを、はずしたときの逆の手順で、確実に取り付ける

ご注意

- 取出口ふた、後パネルは確実に取り付けてください。
取出口ふたは上下方向を確認して、手ネジを確実に締め付けてください。
内容物がこぼれたり、運転しない原因となります。
- かくはん棒の一部(スプリング)が取出口から飛び出ている場合は、処理槽内左側に曲げて押し込んでください。

6 新しいバイオ基材を入れる

- 11** 別売品の交換用バイオ基材(NP-1B) 1袋を、処理槽にこぼれないようにゆっくりと投入します。
- 12** 上扉を閉めます。
- 13** 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 14** 「電源」ボタンを押し「入」にします。
- 15** 「リセット」ボタンを「ピピッ」と音が鳴るまで、(約5秒間)押します。「電源」ボタン「バイオ基材経過」ランプが消えます。

